

1. 春日山地域観光コンテンツ計画

第1章 計画概要

- 各施設などを対象とした観光コンテンツ計画及び地域全体の統一した空間づくりに向けたイメージ戦略を定める。

第2章 観光客の回遊に関する現状調査及び評価の実施

- おでかけウォッチャー：GPSの位置情報データを用いてスポットへの来訪者情報を収集
- 宿泊実態調査：「じゃらんnet」の統計データと、地域の事業者には設置されている決済統計データを統合

第3章 市場調査の実施

- 観光ニーズ(GAP)調査：インターネット上で、対象エリア・年代の対象者にリサーチを実施
⇒グルメ、春日神社、春日山神社、春日山城跡、景色・自然・眺望スポット、街歩きに興味がある人が多い。
- アンケート調査：広く市民の観光に対する意識を調査
⇒本丸からの景色、林泉寺、春日山神社、眺望スポット、謙信公祭について魅力があると回答した人が多い。

第4章 観光誘客の可能性の探索と整備

- 「地域の素材集め」と「市民の地域への想いの具現化」を目的に、計4回のワークショップを実施。
- 観光客へ演出するメッセージ＝「勝負強い」、「純白」

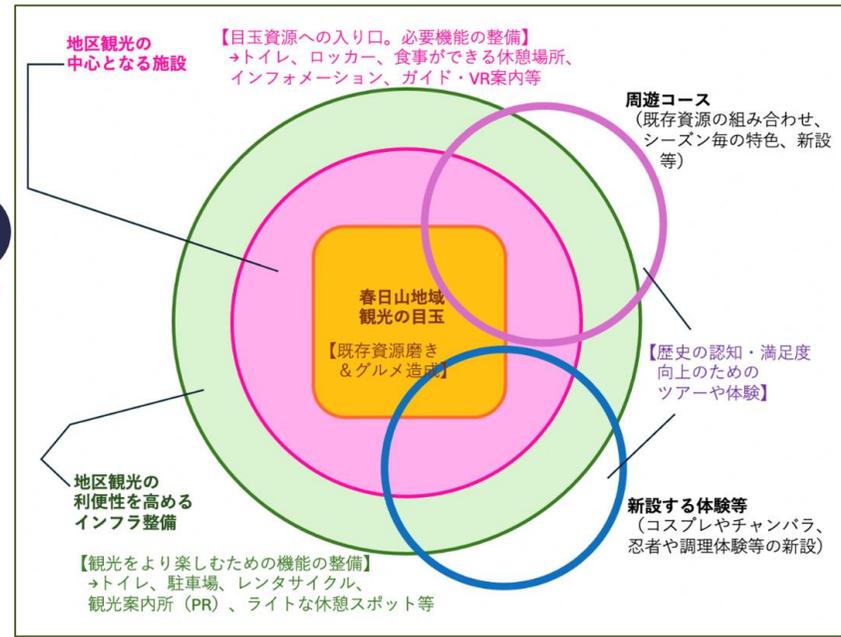
第5章 イメージ戦略の作成

- メインとなるターゲット
 - ▶コア層…40-50代の男性、新潟県・長野県・首都圏より来訪
 - ▶一般層…30代の男女、新潟県・長野県より来訪
- ロゴ案の設定
地域が観光客に伝えたいメッセージの顔として、第一印象となるロゴマークを検討(令和7年度作成予定)



第6章 観光コンテンツ計画の作成

- 観光コンテンツ案の取りまとめ
 - ▶観光の目玉：春日山城跡、春日山神社、春日神社
 - ▶観光の中心施設：拠点施設、春日山城史跡広場・ものがたり館



2. 春日山地域回遊観光計画

第1章 計画概要

- ・ 来訪者の春日山地域における滞在時間の確保等を目指し、回遊観光計画を定める。

第2章 現状把握

- ・ 人口と世帯数、土地利用の状況、交通量、バス路線・便数
- ・ 道路の線形、春日山山麓の中世の町割、春日山地域内から春日山城跡の眺望

第3章 回遊観光の世界観と展開イメージ

- ・ 世界観「上杉謙信公に会えるまち」…現実的に存在しない状況を言葉で表すことで、観光客の興味を惹く。
- ・ 段階的な展開
 - ①観光の基盤づくりの段階：地域と共存した観光整備 ▶地元の理解・協力
 - ②民間による事業展開段階：市民や企業と一体となった機運醸成 ▶主に国内向け
 - ③春日山地域観光の発展段階：誰もがWin-Winとなる適切な規模感の観光 ▶インバウンド対応

第4章 想定回遊ルート of 検討（徒歩及び車移動）

- ・ 基本的な考え方 観光客はカーナビやナビゲーションアプリを用いて移動することを前提
将来的な来訪者増を見越した地域内駐車場の増設については、埋蔵文化財センター周辺で対応
- ・ 車両系ルート…上越市内の交通拠点（上越IC、上越高田IC、上越妙高駅）からの移動ルート、回遊ルートを設定
- ・ 歩行系ルート…近隣住宅地への影響、誘導案内のわかりやすさ、歩道の有無等を考慮し、ルートを設定

第5章 駐車場、トイレの適正配置計画（将来的な観光客の増加に伴い、来訪者・近隣住民への影響を及ぼす恐れが生じた場合の検討）

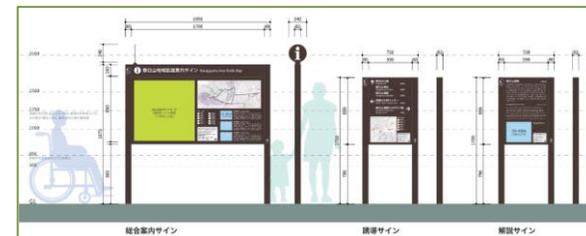
- ・ 駐車場…混雑緩和のため山城部への車両進入を減らす取組（駐車場の有料化等）
埋蔵文化財センター周辺の駐車場増台
- ・ トイレ…回遊による利用想定では配置規模とも充足しており、増設はしない。
老朽化や故障がみられるトイレは更新を検討する。
※ただし、各施設のピーク時利用は別途考慮する必要があるため、規模算定は設計段階で改めて行う。

第6章 二次交通計画

- ・ 先行事例調査、導入可能性の検討を行った結果、
巡回バス、電動アシスト自転車のレンタサイクルの導入を検討

第7章 サイン計画

- ・ 総合案内サイン、誘導サイン、解説サインのガイドラインを策定 →



3. 春日山地域における既存施設の活用構想

第1章 活用構想概要

- ・「観光コンテンツ計画」を踏まえ、春日山城跡に関連する施設、公共施設の活用構想を定める。
- ※「観光拠点施設」、「春日山城跡史跡広場・春日山城ものがたり館」はパブリックコメント等が必要となることから対象外

第2章 春日神社周辺の活用

- ・御館川沿いに二次交通用のバス停の設置

第3章 春日山神社下駐車場の活用

- ・駐車場の飽和対策（二次交通利用の促進、有料化等）、既存公衆トイレの改修、大型観光バスの利用

第4章 愛宕谷公園の活用

- ・既存公衆トイレの改修、遊歩道の再整備、将来的なキャンプ利用を見据えた広場整備等

第5章 虎御前の墓周辺の活用

- ・誘導サインの整備

第6章 御前清水周辺の活用

- ・解説サインの整備

第7章 林泉寺駐車場等周辺の活用

- ・既存公衆トイレの改修、駐車場の整備

第8章 春日山駅前周辺の活用

- ・春日山駅：駅舎のラッピング、公衆トイレの撤去・新設
- ・春日謙信交流館：観光案内所（コインロッカー）の設置
- ・二次交通の発着場整備



▲林泉寺駐車場 整備イメージ



▲春日山駅 駅舎ラッピングイメージ

4. 鉄道遺産群活用基本計画

1 本計画の目的

- ・鉄道遺産を一体的な観光素材として改めて見つめ直し、更なる活用を図ることによって、後世に保全及び継承していくことを目指す。

2 計画の位置づけ

3 鉄道遺産における現状・課題

- ・市民団体等による各鉄道遺産の保全・活用には限界があり、経費の捻出も課題

4 鉄道遺産の持続可能な継承に向けたありたい姿

- ・「上越市鉄道遺産群」としてパッケージ化し魅力を高める ⇒ 観光活用による収益で、鉄道遺産を保全・継承

5 上越地域の鉄道の歴史

6 上越市鉄道遺産のストーリー

- ・メインストーリー「米と石油を運び出せ！～本州横断鉄道が始まった鉄道のまち上越～」＋サブストーリー

7 ストーリーに合致する遺産のリストアップ

- ・直江津D51レールパーク…扇形機関庫、転車台
- ・くびき野レールパーク…2号機関車(コッペル)、機関庫
- ・五智交通公園…D51 形蒸気機関車、双頭レール
- ・高田駅…ホーム(上屋の柱) など

8 鉄道遺産の現状・課題及び観光活用の課題

9 守るための手段

- ・(仮称)上越市鉄道遺産群保存活用制度…鉄道遺産の認定、支援

10 活用するための手段

- ・情報発信(ウェブサイトやパンフレット作成)、ガイド付きツアー等

具体化、実行していくための組織
↓
(仮称)上越市鉄道遺産群連絡協議会

【直江津D51レールパーク拡充整備(鉄道博物館)について】

実現の可能性が不確かな中で多額の投資が必要となるリスクの高い事業となることが鮮明となった。直江津D51レールパークの拡充整備(鉄道博物館)に代えて、各地にある鉄道遺産を面的に捉え、それらを博物館に模して一体的に発信していくフィールドミュージアムといった、別の方法による実現を目指すこととし、上越市通年観光計画期間における新たな建築物の整備は見送りとする。

5. 浄興寺大門通り修景整備基本計画・景観ポイントブック

第1章 はじめに

寺院の魅力向上と寺町全体の景観形成を目指す中で、浄興寺大門通りの修景整備を1つのモデル事業に位置づけており、良好な景観が豊かな生活環境をつくり出し、郷土に対する誇りや愛着を育むことにより、景観に対する機運が寺町全体に広がるとともに、寺町らしさを求める観光客でにぎわうことを目指す。

第2章 現状調査

- ・交通量、道路幅員、側溝、電柱等

第3章 他市事例

- ・永平寺(福井県永平寺町)、神路通り(三重県伊勢市)、小布施(長野県小布施町)等

第4章 地域の意見集約

- ・ワークショップでの意見…雰囲気がある道路舗装、無電柱化、住民と寺院が協力したイベントの実施等
- ・アンケート調査…浄興寺大門通りの現状の満足度、今後景観整備を行う場合の協力意向等

第5章 整備計画

- ・修景コンセプト…基調、アクセント、新たな魅力
- ・整備方針…将来像「住民と来訪者にとって魅力あふれる祈りの道」
- ・整備・取組一覧
 - ▶市、関係機関：無電柱化（裏配線）、歓喜橋の塗装、景観照明の設置、公共物（ごみ集積所、カーブミラー等）の修景、道路景観舗装等
 - ▶住民、企業、寺院：空間への気遣い、人の行動

浄興寺大門通り景観ポイントブック

- ・沿道住民に向けて「沿道の景観を良くしたいという気持ちがあるものの、やり方が分からない。」ときに手に取っていただくもの。
 - ▶建物の外観や外構など街並みを構成する「空間への気遣い」
 - …屋根の向き・勾配を揃え一体感向上、プランターなどで緑を配置
 - ▶にぎわいや癒しを与える「人の行動」
 - …日常的な挨拶、こまめなゴミ拾いや掃除、季節に合わせたイベント開催



▲修景後イメージ